

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2024-12-18

改訂番号 2

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 **ENrich S Columns**

カタログ番号 7800021, 7800023, 7800672

安全データシート の供給者の詳細

製造者 日本法人/連絡先住所 本社

Bio-Rad Laboratories Inc. 1000 Alfred Nobel Drive Bio-Rad Laboratories, Life 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 Science Group 2000 Alfred Nobel Drive Hercules, California 94547 Hercules, CA 94547 天王洲セントラルタワー20F USA バイオ・ラッド ラボラトリーズ **USA**

株式会社

テクニカルサービス 03-6404-0331

life_ps_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 使用上の制限 試験研究用試薬 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	
<u> </u>	区分 3
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 1A
生殖毒性	区分 1A
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は
	ない
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
区分2 肝臓。	
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

ページ 1/8

危険

危険有害性情報

発がんのおそれ

先が700035 とれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ 引火性液体及び蒸気

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ: 肝臓。

安全対策

- ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること
- ・容器を接地しアースをとること ・火花を発生させない工具を使用すること ・静電気放電に対する措置を講ずること
- 高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること ・皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【 又はシャワー】で洗うこと ・火災の場合: 消火するために乾燥した砂、粉末消火剤又は耐アルコール泡消火剤を使用すること

・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと

廃棄

・内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

<u>他の危険有害性</u>

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学物省•淀合物(/)以加	混合物

化学名又は一般名	CAS番号	重量%	化審法インベ	化審法番号	安衛法インベ	安衛法番号
			ントリ		ントリ	
エタノール	64-17-5	5 - 10	既存	(2)-202	既存	(2)-202

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3

法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第 危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3

化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
エタノール	エタノール	64-17-5	8.3	

<u>表示対象物質</u> 注第7 条第1 項 施行令第18 条第1号<u>、第2号・別表第9 及び第3号・別表第3</u>

<u> </u>		<u> </u>		
化学名又は一般名	規則名称	CAS番号	含有率 %	施行日
エタノール	エタノール	64-17-5	8.3	

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。 治療を行う医師 一般的なアド バイス

にこのSDSを示すこと。

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けん(鹸)と多量の水で洗うこと。

ページ 2/8

眼に入った場合 直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。 洗っている間は眼を

大きく広げたままにすること。 受傷部をこすらないこと。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 情報なし。 徴候症状

応急措置をする者の保護に必要な注意 すべての着火源を排除すること。 医療者に物質の関与を伝え、自身の保護及び汚染の拡大 事項 を防止するための措置を講じること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細に

ついては項目8を参照。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 粉末消火剤。 二酸化炭素(CO2)。 水噴霧。 耐アルコール泡消火剤。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

着火のリスク。 製品及び空容器を熱源及び着火源から遠ざけること。 火災の場合には、 水噴霧でタンクを冷却すること。 燃焼残留物や汚染された消火水は現地の規制に従って廃 棄しなければならない。 特有の危険有害性

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること。

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 **予防措置** 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

急時措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 人員を安全な区域に退避させること。 指定された個人用保護具を着用すること。 詳細に 急時措置 ついては項目8を参照。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか 確認すること。 人員を漏出/漏えい(洩)の風上に遠ざけること。 全ての着火源を排除する こと(近接区域は禁煙とし、裸火、火花又は火炎を排除すること)。 フラッシュバックに注 意すること。 静電気に対する予防措置を講ずること。 製品を取り扱うときは使用する全 ての器材を接地すること。 漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。

項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。 緊急対応を行う者のための保護具

項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。 安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。 製品が排水路に入らないようにすること。 環境に対する注意事項

封じ込め方法

リスクを伴わずに可能ならば漏えい(洩)を止めること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。蒸気抑制泡を使用して蒸気を減らすことができる。流去水を回収するために液体流出物のかなり前方に堤防を築くこと。排水路、下水溝、排水溝、水路に入らないようにすること。後で廃棄するために土、砂又はその他の不燃性材料に吸収させて容器に移すこと。

静電気に対する予防措置を講ずること。 せき止めること。 不活性吸収材料で吸収すること。 回収して適切に表示された容器に移すこと。 浄化方法

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。 二次災害の防止策

その他の情報 その区域を換気すること。 項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

個人用保護具を使用すること。 蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 静電気の放電、火災又は

ページ 3/8

爆発を防止するために、この物質を移動するときは接地及びアース接続を使用すること。 局所排気換気装置を併用すること。 火花を発生させない工具及び防爆型の機器を使用する こと。 スプリンクラーが装備された区域に保管すること。 包装容器のラベルに記載の指 示に従って使用すること。 産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は 衣類との接触を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。 衛生対策

<u>保管</u>

安全な保管条件

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 熱、火花、炎及び他の着火源(例えば、点火バーナー、電気モーター及び静電気)から遠ざけること。 適切な表示のある容器に保管すること。 可燃性物質の近くには保管しないこと。 スプリンクラーが装備された区域に保管すること。 個別の国内規制に従って保管すること。 現地の規則に従って保管すること。 施錠して保管すること。 製品とラベルの指示に従って保管してくだ

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基 準 - 管理濃度	ACGIH TLV
エタノール 64-17-5	_	-	STEL: 1000 ppm

生物学的職業性ばく 露限界値

この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

設備対策 シャワー

洗眼場 換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。 不浸透性手袋。

眼及び/又は顔面の保護具 密封性の高い安全ゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。 長袖の衣類。 耐薬品性エプロン。 帯電防止長靴。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

懸濁液 外観 物理状態 液体 色 白色 臭い アルコール 臭いのしきい値 情報なし

-タなし 融点/凝固点 · データなし 沸点又は初留点及び沸点範囲

<u>備考 · 方法</u> 情報なし 情報なし

ページ 4/8

可燃性 データなし 情報なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発又は可燃の上限界 データなし **爆発又は可燃の下限界** データなし

引火点 54 ° C / 129.2 ° F

pn **粘度**

動粘性率データなし情報なし動的粘度データなし情報なし

水への溶解度 部分混和性 データなし n ー**オクタノール/水分配係数(log値)** データなし 素気圧 データなし

 粒径
 データなし
 該当しない

 粒径分布
 データなし
 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし **酸化性** 情報なし

10: 安定性及び反応性

情報なし 情報なし

情報なし

反応性 情報なし。

化学的安定性通常の条件下で安定。危険有害反応可能性通常の条件下で安定。避けるべき条件熱、炎及び火花。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 あり。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト) 704.20 mg/l

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
エタノール	= 7060 mg/kg (Rat)	-	= 116.9 mg/L (Rat) 4 h
	9 9 . ,		= 133.8 mg/L (Rat)4 h

<u>略語及び頭文字</u> Rat: ラット

症状 情報なし。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

JGHS / JP ページ 5/8

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 眼接触

皮膚腐食性/刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 分類できない。

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。 成分に対して利用可

能なデータに基づく分類。発がんのおそれ。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	IARC
エタノール	1A	Group 1
64-17-5		' '

凡例

国際がん研究機関

グループ1-ヒトに対する発がん性がある

生殖毒性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

標的臟器影響 肝臓、呼吸器、眼、皮膚、中枢神経系、血液、生殖系

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による 肝臓。以下の臓器の障害のおそれ:

誤えん有害性 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殼類
エタノール	_	LC50: 12.0 - 16.0mL/L (96h,	LC50: 9268 - 14221mg/L (48h,
		Oncorhynchus mykiss)	Daphnia magna)
		LC50: >100mg/L (96h, Pimephales	EC50: =2mg/L (48h, Daphnia
		promelas)	magna)
		LC50: 13400 - 15100mg/L (96h,	3 .
		Pimenhales promelas)	

残留性·分解性 情報なし。

ページ 6/8

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

15453 [13 [N	
化学名又は一般名	分配係数
エタノール	-0.35
64-17-5	

土壌中の移動性 情報なし。

オゾン層への有害性 分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

環境中に放出してはならない。 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃 残余廃棄物

棄すること。

汚染容器及び包装 空の容器は火災及び爆発危険有害性を有する。容器を切断、穴開け又は溶接しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外 <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 IATA 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

法第57条の2、 施行令第18条の2第1号、第2号別表第9及び第3号・別表第3

危険性又は有害性等を調査すべき危険有害物

法第57条の3 表示対象物質

法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9及び第3号・別表第3

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

引火性液体、第4類、第2石油類、非水溶性液体、危険等級 III、1000リットル

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質 大気汚染防止法第2条、第4項で定める揮発性有機化合物

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

ページ 7/8

16. その他の情報

作成者 改訂日 Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2024-12-18

−タシートには大きな変更があります。すべてのセクションをご確認くださ 改訂記録 この安全デ

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例凡例項目8: ぱく露防止及び保護措置TWATWA(時間加重平均)天 天井値 最大限界值 経皮吸収 感作性物質 Sk*

本SDS**の編集に使用した主要参考文献及びデータ源** 環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA) 米国環境保護庁

日本政府によるGHS分類 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国医学図書館のPubMedテータへース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

免責事項

兄員季頃 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり

ページ 8/8